



総務省

Ministry of Internal Affairs  
and Communications

## 地域人材ネット

福島の復興支援を通じて培った多彩なネットワークを活用しHands-onで地域活性化を推進

加藤 博敏 ( かつう ひろとし )

株式会社ピーエイ 代表取締役会長兼社長



### ○ 登録者情報

所在地

東京都目黒区

## 略歴

- 1980年 : 国立大学法人福島大学経済学部卒業  
1986年 : 有限会社ピーエイ設立、代表取締役社長  
1990年- 現在 : 有限会社ピーエイを株式会社ピーエイに改組、代表取締役社長(現任)  
2013年- 現在 : ふくしま復興塾の創設者・塾長(現在 ふくしま創生塾に名称変更)  
2014年 : 福島県と連携し福島県知事直轄  
「ふくしまからはじめよう。未来づくり“HAJIMEPPE”」の復興支援事務局となる  
2015年- 現在 : 一般社団法人 ふくしまチャレンジはじめっぺ設立・創業者・代表理事  
2017年- 現在 : 一般社団法人 涉成楽市洛座設立・理事就任(産官学+地域の4事業者が連携・協業した団体)  
2018年 : UR都市機構と地域まちづくり支援事業に係る事業パートナー協定締結  
2021年 : 一般社団法人京都伏見十六会 発起人共同代表理事  
2022年 : 一般社団法人京都伏見十六会「第一回人づくり塾」「第二回人づくり塾」開催  
2021年 : 新潟県「万代テラスにぎわい創出事業」受託  
2022年- 現在 : 福島県檜葉町アンバサダー任命  
2022年- 現在 : 「檜葉町」の地域おこし協力隊員の受入事業者となり、地域おこし協力隊  
及び地域おこし協力隊インターンの受入を実施  
2023年- 現在 : 新潟市の地域おこし協力隊受入れ事業者受託  
2024年 : 金山町との「令和6年度金山町地域おこし協力隊インターン企画運営業務委託」を締結  
2024年- 現在 : 檜葉町との合弁の地域商社 株式会社福島インカネット設立・代表取締役  
2024年- 現在 : 新潟県「万代テラス賑わい創出のための公共還元型民間活用導入事業」30年間の  
受託事業者となる

## 著書・論文等

## ○ 福島の復興支援を通じて培った多彩なネットワークを活用しHands-onで地域活性化を推進

### 取組の内容

地域資源を活用した地域経済の循環に取り組み、福島県や京都などで地場産業の活性化や雇用創出を推進してきました。特に、地域の特色を生かした観光振興や関係人口の創出に力を入れ、地域の魅力を発信しながら、多様な人々に関わる仕組みを構築しています。

まちなか再生の分野では、「崇仁新町」「るてん商店街」「クラフトビレッジ西小山」「万代テラスハジマリヒロバ」など、地域と連携したプロジェクトを手掛け、商業や文化交流の拠点づくりを進めてきました。さらに、各地方自治体と連携し、シティプロモーションを強化することで、都市と地域を力強く繋ぎながら地域ブランドの確立にも貢献し地域の活性化を実現しています。

また、ふくしま復興塾(現・ふくしま創生塾)の塾長として、地域人材の強化育成にも注力しています。地域おこし協力隊や学生インターンの活用を進め、地域活性化に貢献する若手の育成と支援を行っています。

さらに、起業家育成にも力を入れ、地域おこし協力隊の経験者が法人を立ち上げる支援を行うなど、持続可能な地域活性化に向けた取り組みを推進しています。



新潟県・万代テラスハジマリヒロバにて  
遊休地の活用と賑わい創出



2013年創設時から継続している人材育成

## 実績

2013年-現在: Fukushima創生塾(旧ふくしま復興塾)を主宰し創塾12年間でのべ300名の起業家を育成

- 2023年: 榎葉町地域おこし協力隊支援業務3名。  
・新潟市テレワーカー移住・定住地域おこし協力隊の募集及び採用及び活動支援3名  
・榎葉町地域おこし協力隊インターンプログラム作成業務59名組成
- 2024年: 榎葉町地域おこし協力隊支援業務6名。  
・新潟市テレワーカー移住・定住地域おこし協力隊の募集及び採用及び活動支援3名  
・金山町 地域おこし協力隊インターン企画運営業務2名  
・榎葉町地域おこし協力隊インターンプログラム作成業務38名組成(2024年12月時点)

2024年: 公益社団法人京都市観光協会より社員1名派遣要請

2024年: 地域活性化起業人制度による榎葉町への社員2名派遣

2024年: 新潟県「万代テラス賑わい創出のための公共還元型民間活力導入事業」の事業予定者に決定

2024年-現在: 福島県双葉郡榎葉町のシティプロモーションの一環として、新たな特産品であるサツマイモを活用した六次化商品の販路拡大を支援し、2024年6月よりJR東京駅・上野駅など首都圏の大手コンビニチェーン23店舗での販売開始に伴うプロモーションを推進するとともに、2024年12月から2025年1月にかけて実施された店内放映による販売促進施策にアドバイザーとして関与しました。

東日本大震災を契機に、福島県と連携した復興事業を展開し、福島県知事と共に行脚し福島物産の販路拡大や日本酒商談会を通じて風評被害払拭に貢献しました。主宰するふくしま復興塾塾生と京都市でも福島物産販売を行い、地域人材の育成と起業支援を推進しました。また、北海道、新潟、福島、京都、福岡の物産販売会も東京で開催し販路拡大を推進しました。

さらに障害者施設を応援する為に販売支援も実施しました。

## 工夫した点や苦労した点

地域の特性や文化を尊重し、画一的ではない施策の提案を心がけました。事前のヒアリングや現場視察を重視し、机上の理論ではなく実践的で柔軟な解決策を構築することで、現場に即した課題解決に取り組めました。

また、地域事業者や住民が主体的に関与できるビジネスモデルを構築し、自走可能な仕組みを整えることで、地域資源を活かした持続可能な経済循環を目指しました。単なる一時的な支援にとどまらず、地域人材の育成や外部人材との協働を促進し、関係人口の創出にも注力しました。

自治体、大企業、地域企業と連携しながら、地域の担い手を増やし、持続的な成長を支える組織づくりに取り組みました。

## ひとことPR

復興創生事業に深く関わり、人材育成、UIターン促進、6次化産業支援、シティプロモーション、市街地活性化など、多岐にわたる分野で企画・プロデュース・運営を一貫して実行してきました。自治体や大企業、地域住民と連携しながら培ったノウハウと実績は、各地の地域活性化へと広がりを見せています。現場に根ざした実践的なアプローチと、持続可能な地域づくりを推進する確かな経験が、私の最大の強みです。

大都市にも歴史と文化に彩られた素晴らしい地域があり、地方にも地元を愛する元気な人々がいます。震災があって初めてふるさとの価値がわかりました。地域の人々が生き生きと働き、暮らしを楽しみ、日常的に交流できる環境が整えば、自分の住む地域に誇りを持てるはず。そんな地域を一つでも多く増やせるよう、努力してまいります。

## ○ 参考

### 取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
○ 地場産品発掘・販路開拓	○ 中心市街地活性化
○ 6次産業化	○ 空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
○ 経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	○ 商店街活性化
○ 地域中核企業等の支援	○ その他 西小山駅前地区まちづくり支援
○ その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
○ 地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
○ その他 ドローンフードデリバリー試験	○ その他 ジビエレストラン開設
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	○ DMOとの連携
地区防災計画	○ インバウンド対応
BCP	民泊・農泊
避難所運営	○ 地域おこし協力隊の推進
感染症対策	○ その他 おこし協力隊インターン・京都伝統工芸
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	○ 起業・事業承継等支援
○ 地域おこし協力隊の推進	○ 空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	○ 地域おこし協力隊の推進
○ その他 地域おこし協力隊インターン活用	○ その他 地域おこし協力隊インターン活用
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
○ 結婚・出産・子育て支援	人材研修
○ 働き方改革	○ ふるさと教育
子どもの貧困対策	地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
○ その他 放課後等デイサービス	○ その他 学生ベンチャー企業家支援
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
○ 財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	○ 地域ブランディング
○ 官民連携(PPP・PFI)	○ メディア活用策
○ 自治体間連携	効果の把握・評価
○ 住民参加	○ その他 都市部での地域PR・イベント開催
EBPMに基づく政策立案	
○ その他 地方自治体との合併会社設立	

### 関連ホームページ

株式会社ピーエイ	<a href="https://www.pa-co-ltd.co.jp/">https://www.pa-co-ltd.co.jp/</a>
(一)ふくしまチャレンジはじめっぺ	<a href="https://www.fukushima-challenge.org/supporters/0001.html">https://www.fukushima-challenge.org/supporters/0001.html</a>
新潟観光コンベンション協会	<a href="https://www.nvcb.or.jp/saniokaiin/info_002/2098">https://www.nvcb.or.jp/saniokaiin/info_002/2098</a>

### 連絡先

メールアドレス	kato [アットマーク] pa-co-ltd.co.jp	電話番号	03-6885-1010
---------	-------------------------------	------	--------------

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。